

# ドイツ・ドナウエッシンゲン市に5人が訪問 7/31~8/12



上山市との友好都市であるドイツのドナウエッシンゲン市に本校生徒5名の皆さんが訪問し、交流を深めました。上山市で生まれ育った郷土の歌人斎藤茂吉がミュンヘン大学に留学した際、ドナウ川源流の地ドナウエッシンゲン市に滞在して歌を詠んだ縁で、隔年で若者の相互交流が行われているものです。

## 吹奏楽部 東北大会出場(青森県開催 9/14) おめでとう！

### 全日本吹奏楽コンクール山形県大会金賞 (7/28) ※2年連続

享月 日 楽行 日 2019年(令和元年)7月28日(日) 第3種郵便物認可

高校の部で県代表に選ばれた鶴岡南

高校小編成の部で県代表に選ばれた上明新館

**全日本吹奏楽コンクール 山形県大会**

## 上山明新館など 東北大会に6校

全日本吹奏楽コンクール第58回県大会(県吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)が27日、山形市の県民会館(やまきんホール)で始まった。初日は2部門に計26団体が出場。高校の部は山形中央、鶴岡南、東海大山形、山形北が、高校小編成(30人以内)の部は鶴岡東と上山明新館がそれぞれ東北大会への出場を決めた。上山明新館は初。

上山明新館は、「吹奏楽のたのめ協奏曲」を演奏。部長の寺西海琴さん(3年)は「皆と音を合わせることを意識して舞台に立った」と話す。昨年の東北大会では大編成の上限である50人を出場したが、今年は部員が43人に減った。一人数が少ない分、音量を意識して常に練習してきました。

鶴岡南は3年ぶりの東北大会。吹奏楽研究会長の鈴木翔子さん(3年)は「2年の時、東北大会に出場できず悔しい思いをしてきた。その分の努力が実ったうれしい」。今年は部員同士の話し合いを大切にできたという。

東海大山形は「シンフォニエッタ第3番『響きの森』」を披露。クライマックスでは打楽器の壮大な演奏で会場を包み込んだ。部長の荏司佳南さん(3年)は「全員で楽しく演奏、聞いてくれる人に届く演奏を意識した」と話す。

山形北は、作曲家のパーンスが娘の死をきっかけに作曲した「交響曲第3番」を迫力ある演奏で披露。部長の佐藤瑞美さん(3年)は「パワフルな演奏ができるのは部員に元気な子が多いからかな」と笑顔。東北大会に向け「基礎からしっかりと練習し、よりよい音楽を

つくりたい」と意気込んだ。鶴岡東は「百頭女」を演奏。富樫結美さん(3年)は「私たちは吹奏楽の要であるフルートがない分、一人ひとりがカバーできるように頑張った」と話す。同校は野球部が夏の甲子園出場を決めている。「同じ学校の生徒が頑張っていてとても刺激になりました」

上山明新館の伊藤聖奈さん(3年)は「目標だった東北大会出場が決まって幻かと思いました」と興奮した様子。「今年は先輩後輩関係なく意見が言えるような雰囲気を作りだすために来た。そうした環境が部全体の成長につながったと思う」と話した。

東北大会は、高校の部は8月24日に盛岡市の岩手県民会館で、高校小編成の部は9月14日に青森市のリンクステーションホール青森である。(兼田智恵、宮谷由希)

◇ 27日の結果は次の通り。  
(賞の中は演奏順)◎は東北大会出場

【高校小編成】  
(金賞)新庄南、◎鶴岡東、◎上山明新館、米沢東、大山形、(銀賞)南陽、荒砥、天童、酒田光陵、酒田西、鶴岡土井、寒河江、米沢南、(銅賞)庄内総合、山形南、新庄東、山形南

【高校】  
(金賞)◎山形中央、◎鶴岡南、◎東海大山形、米沢興譲館、◎山形北、(銀賞)山形北、(銅賞)山形北、酒田東

## 農産物の収穫



R元. 農産物販売（8月24日・麗明祭にて）



農場では、旬を迎えているブドウの「シャインマスカット」をはじめ、果物や野菜が収穫され、食料生産科による販売実習が行われています。本校の学校祭・麗明祭でも、来校された皆さんから大変喜んでいただきました。

追：本校のOBである吉本のお笑い芸人「ゲルマニウム」が同窓会総会に続いて麗明祭でも成長した姿を見せてくれました。



